

れいわ ねんど
令和 7 年度

きゅうぞうえんせこうかんりぎじゅつけんてい
1 級 造園施工管理技術 検定

だいいちじけんてい しけんもんだい
第一次 検定 ・ 試験 問題 A

つぎ ちゅうい よ かいとう
次の注意をよく読んでから解答してください。

ちゅうい
【注 意】

- これは第一次検定の試験問題Aです。表紙とも8枚あります。
HBの鉛筆又はシャープペンシルで、解答用紙（マークシート）に試験地、氏名、受験番号を記入してください。
受験番号は該当する数字をぬりつぶしてください。（万年筆・ボールペンの使用は不可）
- 問題は全て必須です。36 問題全部を解答してください。

かいとうようし
解答用紙は

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

となっていますから、

もんだいばんごう たいおう
問題番号に対応する解答記入欄の正解と思う数字をぬりつぶしてください。

なお、正解は一つしかないの、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

かいとう
解答のぬりつぶし方は、解答用紙の解答記入例（ぬりつぶし方）を参照してください。

かいとう ていせい ぼあい け
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。

- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- 試験問題の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。
- 解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。試験監督者に直接提出してから退室してください。
- 試験問題は、試験終了時刻（12時30分）まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

※ 問題は全て必須ですから、36 問題全部を解答してください。

【問題 1】 日本庭園に関する「庭園名」、「庭園様式」、「庭園が作庭された時代」の組合せとして、
適切なものはどれか。

- | | (庭園名) | (庭園様式) | (庭園が作庭された時代) |
|-----|---------|---------|--------------|
| (1) | 浄瑠璃寺庭園 | 浄土式庭園 | 平安時代 |
| (2) | 修学院離宮庭園 | 枯山水式庭園 | 室町時代 |
| (3) | 天龍寺庭園 | 茶庭 | 鎌倉時代 |
| (4) | 龍安寺方丈庭園 | 池泉回遊式庭園 | 江戸時代 |

【問題 2】 我が国の公園制度に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、
適切なものはどれか。

1888 (明治 21) 年に、パリなどをモデルとして東京を近代国家の首都にふさわしい都市に改造しようとする目的で、(A) が公布された。特に、1903 (明治 36) 年に開園した (B) は、これにより新設された我が国最初の近代的な都市公園である。

- | | (A) | (B) |
|-----|----------|-------|
| (1) | 都市計画法 | 隅田公園 |
| (2) | 都市計画法 | 日比谷公園 |
| (3) | 東京市区改正条例 | 隅田公園 |
| (4) | 東京市区改正条例 | 日比谷公園 |

【問題 3】 土壌に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- 酸性の強い土壌に対しては、一般に炭酸カルシウムなどを混合して pH を改良する。
- 土壌の最大容水量とは、土壌に十分な水が加えられた後、1～2 日経過して重力による水の排水が終了したときの水分保持量のことである。
- 土壌中の空気は、土壌微生物や植物根などの呼吸により酸素が消費され二酸化炭素が生成されるため、大気と比べて一般に二酸化炭素の比率が大きい。
- 土壌の透水性や保水性などは、土性と密接な関係があり、一般に壤土は埴土と比べて透水性に優れ、植物の生育に適している。

〔問題 4〕 土壌に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 腐植は、土壌の団粒構造の形成を促進し、土壌の保水性を良好にする。
- (2) 腐植は、土壌中で有機物の分解と再合成によって作られるもので、一般に黒みの強い土壌は腐植に富んでいる。
- (3) 腐植は、土壌 pH の急激な変動を緩和する働きがある。
- (4) 腐植は、土壌中のアルミニウムイオンを活性化するので、腐植を多く含む土壌ではリン酸の固定力が強くなる。

〔問題 5〕 次の (イ)、(ロ) の記述に該当する肥料成分の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (イ) 植物体を形づくるタンパク質の成分となる。欠乏すると、生育が悪化したり葉が黄色くなったりする。多過ぎると、生育が旺盛となり開花が遅れたり咲かない場合がある。
- (ロ) 植物体内の新陳代謝をよくし、欠乏時には気孔や水分代謝の調節を欠き、茎葉が軟弱体になる。多過ぎると、マグネシウムなどの吸収を妨げるので、生育が悪くなる。

(イ) (ロ)

- (1) カリ —— リン酸
- (2) カリ —— 窒素
- (3) 窒素 —— リン酸
- (4) 窒素 —— カリ

〔問題 6〕 植物の虫害に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) カミキリムシ類の幼虫は、樹木の中にいて樹皮下や材部を食害し、植物を枯死させることがある。成虫は新梢部の樹皮を加害するため、枝枯れの原因となる。
- (2) アブラムシ類の幼虫・成虫は、新しい芽や葉などの様々な部位に群生し、汁液を吸収し、植物の生育を妨げる。ウイルス病を媒介することもある。
- (3) カイガラムシ類の幼虫は、地中に生息して根を食害し、苗木・幼木を枯死させる。成虫は葉や花を食害する。
- (4) ドクガ類の幼虫は、若齢のうちは群生して葉の表面を食害し、成長すると分散して葉を食害する。

〔問題 7〕 造園樹木に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) クロガネモチは、落葉広葉樹であり、赤色の実をつける。
- (2) ナナカマドは、常緑広葉樹であり、赤色の実をつける。
- (3) サンシュユは、落葉広葉樹であり、白色の花をつける。
- (4) ホソバタイサンボクは、常緑広葉樹であり、白色の花をつける。

〔問題 8〕 花壇に用いられる植物に関する組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (1) 春播き一年草 —— コスモス、ジニア、マツバボタン
- (2) 秋播き一年草 —— スズラン、デージー、ヒガンバナ
- (3) 宿根草 —— ギボウシ、ムスカリ、ヤグルマソウ
- (4) 球根草花 —— ストック、ハナショウブ、ダリア

〔問題 9〕 花崗岩に関する次の記述の (A) ~ (C) に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

花崗岩は、成因による分類上は (A) であり、(B) という特徴を持つ。主な石材として (C) がある。

- | | (A) | (B) | (C) |
|-----|-----|--------------|------|
| (1) | 変成岩 | 片状節理が発達している | 万成石 |
| (2) | 変成岩 | 磨くと美しい光沢を生じる | 伊予青石 |
| (3) | 火成岩 | 片状節理が発達している | 伊予青石 |
| (4) | 火成岩 | 磨くと美しい光沢を生じる | 万成石 |

〔問題 10〕 木材の一般的な性質に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 木材の辺材は、心材よりも水分が少ないため、腐りにくい。
- (2) 木材は、金属やコンクリートに比べて、熱伝導率が極めて大きい。
- (3) 木材は、繊維に平行な方向の圧縮力に対して強く、繊維に直角な方向の圧縮力に対して弱い。
- (4) まさ目の材は、板目の材に比べて、伸縮が不均一で不規則な変形をする。

〔問題 11〕 日本庭園における役木に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 鉢請の木は、縁先手水鉢やつくばいの手水鉢の水面上方に枝葉をのぞかせるように植える樹木で、ナンテン、ウメ、ニシキギなどが用いられる。
- (2) 正真木は、庭の中心に植栽される大木の樹木で、樹形の優れた常緑のマツやマキなどが用いられる。
- (3) 見付きの木は、庭の背景をつくり、前面の植栽を引き立てるように植える樹木で、マツ類、モミ、コウヤマキなどが用いられる。
- (4) 袖が香は、手水鉢のうしろの垣に添えて梅を植える場合をいい、枝数は少ないものがよく、多くは一重の白梅の中木を植える。

〔問題 12〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 歩道の植樹帯に植栽する樹高5.0 m、幹周0.5 mのクスノキに十字鳥居型支柱を用いた。
- (2) 公園の外周に沿って列植する樹高2.0 m、枝張0.3 mのカイツカイブキに竹布掛支柱を用いた。
- (3) 公園の入口広場の植樹に植栽する樹高7.0 m、幹周0.6 mのケヤキに二脚鳥居型（添え木付）支柱を用いた。
- (4) 公園の水辺に植栽する樹高2.5 m、幹周0.1 mのシダレヤナギに添え柱支柱を用いた。

〔問題 13〕 造園樹木の剪定に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 常緑樹を冬期に剪定すると、切除面が寒さや乾燥した寒風などにより害を受けやすくなるので、この時期の剪定は避ける。
- (2) 切返し剪定は、主として混みすぎた枝の透かしのために行い、樹形や樹冠のバランスを考慮しつつ、枝を付け根から切り取る。
- (3) 街路樹で下枝を剪定する際は、通行の安全を確保するため、車道側は、重要物流道路を除いて下枝高4.5 m以上、歩道側は下枝高2.5 m以上を確保する。
- (4) 生垣の刈込みは、裾を美しい線に保つため、下枝より上枝を強く刈り込むようにし、時には深く切戻しを行う。

〔問題 14〕 当年枝に花芽分化し、年内に開花する花木として、2種とも該当するものはどれか。

- (1) キンモクセイ、ハギ
- (2) ドウダンツツジ、キョウチクトウ
- (3) フヨウ、クチナシ
- (4) サザンカ、ユキヤナギ

〔問題 15〕 B.M. (標高 15.00 m) と測点間の水準測量を行った結果、下表に示す数値を得た。測点 No.2 の地盤高 (m) として、正しいものはどれか。ただし、誤差はないものとする。

測点	後視 B.S. (m)	前視 F.S. (m)
B.M.	2.77	
No.1	1.74	3.16
No.2	0.93	1.02
~~~~~		

- (1) 13.49 m
- (2) 14.67 m
- (3) 15.33 m
- (4) 16.51 m

〔問題 16〕 アスファルト舗装に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) プライムコートは、降雨による路盤の洗掘や表面水の浸透を防止したり、路盤からの水分の蒸発を遮断する効果がある。
- (2) アスファルト混合物の締固め作業は、継目転圧、初転圧、二次転圧及び仕上げ転圧の順序で行う。
- (3) 加熱アスファルト混合物の初転圧温度は一般に 110℃～140℃、二次転圧の終了温度は、一般に 70℃～90℃である。
- (4) タックコートは、路盤（瀝青安定処理路盤を除く）とアスファルト混合物のなじみをよくするために散布するもので、通常、アスファルト乳剤を用いる。

〔問題 17〕 運動施設に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) サッカー場の長軸を東方向にとり、その土地の恒風の方角と一致させた。
- (2) サッカー場のフィールドの天然芝舗装について、ピッチの外側5mの範囲まで芝の植付けを行った。
- (3) 野球場の方角を競技者を主体とするために本塁を北にとり、外野の排水勾配を塁線から外周に向かって0.5%とした。
- (4) 野球場の外野の人工芝舗装について、天然芝に近いクッション性を得るため、ロングピルに砂やゴム粒を充填した表層材を用いた。

〔問題 18〕 運動施設に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 硬式テニスコートのベースラインは幅10cm、それ以外のラインはすべて幅5cmとし、コートの寸法はラインの外側から計測した。
- (2) 硬式テニスコートの排水勾配を、ネットの張られた線を中心に両側のベースラインに向かって0.5%とした。
- (3) 陸上競技場のトラックの内縁に高さ50mmの縁石を設置し、縁石の走路側の端から300mm外でトラック1周の計測を行った。
- (4) 第1種陸上競技場のトラックの1周の距離の公差は、プラス10,000分の1以内となるようにした。

〔問題 19〕 遊具の設置に関する記述のうち、**適当なものとはどれか。**

- (1) サンドピット型砂場を設置する際、砂の深さ150mmとし、砂面と砂場枠上面(砂場縁)との段差を300mmとした。
- (2) 児童用の一方向ぶらんこを設置する際、着座部底面の最下点から着地点までの間隔を300mmとし、周囲の境界柵の高さを設置面から横架材上面まで500mmとした。
- (3) 複合系遊具を設置する際、子供の頭部又は首が挟まって抜けないように、上向きV字型開口部の角度を70度とした。
- (4) 複合系遊具を設置する際、子供の踵の挟み込みが発生しないよう、デッキ床材の最小隙間寸法を50mmとした。

〔問題 20〕 日本庭園における滝及び流れの役石に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 底石は、流れの水底に据え、水面からよく見える役石である。
- (2) 脇石は、流れの両岸に据え、流れの幅を狭めて瀬をつくる役石である。
- (3) 水落石は、滝口に据え、落水をかたどる役石であり、枯滝では鏡石ともいう。
- (4) 水受石は、滝つぼに据え、落水を受けて音やしぶきを演出する役石である。

〔問題 21〕 建設機械に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) タイヤローラは、空気入りタイヤの特性を利用して締固めを行う機械であり、砕石などの締固めには接地圧を高くして使用し、粘性土などの場合には接地圧を低くして使用する。
- (2) スクレーパーは、掘削、積込み、運搬、捨土、敷き均しを一連の作業として行うことができる機械であり、被けん引式と自走式がある。
- (3) バックホウは、機械の設置地盤よりも高い部分の掘削に適した機械であり、水中掘削作業には適さない。
- (4) タンパは、衝撃力を与えて締固めを行う機械であり、小型軽量であるため、他の建設機械では施工ができない場所や小規模の締固めなどに使用される。

〔問題 22〕 コンクリートの施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 日平均気温が4℃以下であったので、寒中コンクリートで施工するものとし、養生温度は所定の圧縮強度が得られるまでの間、5℃以上を保った。
- (2) 外気温が20℃であったので、コンクリートを練り混ぜてから3時間で打ち終えるようにした。
- (3) 打上がり面の仕上げを、ひび割れやぜい弱な層の形成を防止するため、コンクリート上面にしみ出た水を取り除いてから行った。
- (4) 滑らかで密実な表面が必要であったので、作業が可能な範囲でできるだけ遅い時期に金ごてで強い力を加えてコンクリート上面を仕上げた。

〔問題 23〕 ようへき かん きじゆつ てきとう  
擁壁に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

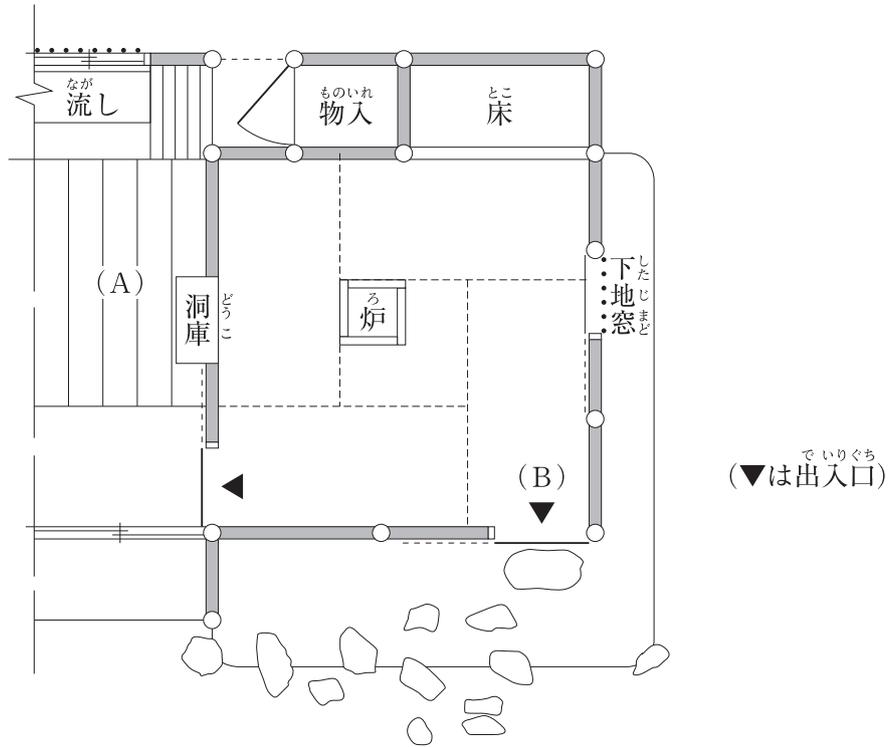
- (1) ブロック積（石積）擁壁は、法面下部の小規模な崩壊防止、法面の保護に用いる擁壁であり、背面の地山が締まっている切土部など、背面地盤からの土圧が小さい場合に用いられる。
- (2) 片持ばり式擁壁は、たて壁と底板から構成され、たて壁にかかる土圧を利用して安定を図る形式の擁壁であり、杭基礎が必要な場合には適していない。
- (3) ブロック積擁壁の水抜き孔は、一般に2～3m²に1箇所の割合で、排水方向に適切な勾配をつけて設ける。
- (4) 擁壁の伸縮目地は、無筋コンクリート構造物では10m以下の間隔で、鉄筋コンクリート構造物では15～20m間隔で設け、その位置では鉄筋を切断する。

〔問題 24〕 はいすいこう かん きじゆつ てきとう  
排水工に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 園路に雨水ますを設置する際に、園路の幅員、側溝の排水能力を考慮して、20m間隔で設置した。
- (2) 排水管に取付け管を取り付ける際、排水管に対して流下方向に60度の向きに取り付けた。
- (3) 汚水ますを設置する際に、底部にインバートを設け、雨水ますを設置する際に、底部に泥だめを設けた。
- (4) 雨水ますに取付け管を取り付ける際、土砂などの排水管への流出を防ぐため、雨水ます底面から10cm上方に取り付けた。

〔問題 25〕 下図の茶室に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

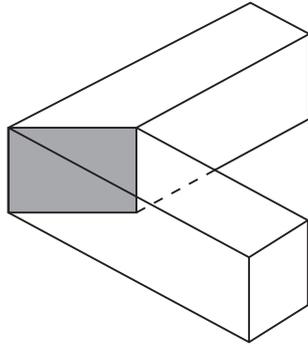
茶事を準備する場所を (A) といい、客が茶室に出入りをする際に利用される出入口を (B) という。



- | (A)     | (B)  |
|---------|------|
| (1) 点前座 | 茶道口  |
| (2) 点前座 | にじり口 |
| (3) 水屋  | 茶道口  |
| (4) 水屋  | にじり口 |

〔問題 26〕 木材の接合に関する次の記述の (A) ~ (C) に当てはまる語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

2つの部材を長手方向につぐ接合を (A) といい、2つ以上の部材を角度をもたせて接合したものを (B) という。下図は、(B) の基本形の一つで (C) という。



- |     | (A) | (B) | (C) |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 継手  | 仕口  | 留め  |
| (2) | 継手  | 仕口  | 相欠き |
| (3) | 仕口  | 継手  | 留め  |
| (4) | 仕口  | 継手  | 相欠き |

〔問題 27〕 公園内の電気設備工事に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 車両その他の重量物の圧力を受ける場所に地中電線路を布設する際、埋設深さを 1.5 m とした。
- (2) 照明灯の接地線を金属製灯柱に沿って設置する際、接地極を地表面から 0.5 m 離して埋設した。
- (3) 地中電線路の管路を設置する際、電気工事士の資格を持たない者が設置した。
- (4) 使用電圧 200 V の金属柱の屋外灯を設置する際、D 種接地工事を施した。

〔問題 28〕 給水工事に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 井戸水の水質検査を行い、逆止弁を設けたうえで、井水管を上水給水管へ直接連結した。
- (2) 給水管の漏水によるサンドブラスト現象によって他の埋設管に損傷を与えないよう、給水管を他の埋設管から 40 cm 離して布設した。
- (3) 公園敷地外の配水管から分岐して最初に設置する止水栓は、損傷の防止や開閉の操作性を考慮して、公園敷地の中央付近に設置した。
- (4) 給水用ステンレス鋼管を曲げ配管する際、加熱による焼曲げ加工を行った。

〔問題 29〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 発注者は、工事用地その他設計図書において定められた工事の施工上必要な用地を、受注者が工事の施工上必要とする日までに確保しなければならない。
- (2) 受注者は、天候の不良など受注者の責めに帰することができない事由により工期内に工事を完成することができないときは、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。
- (3) 発注者と受注者のいずれの責めにも帰すことができないものにより、工事目的物に損害が生じたとしても、受注者はその損害による費用の負担を発注者に請求することはできない。
- (4) 受注者は、工事目的物及び工事材料について、設計図書に定めるところにより火災保険、建設工事保険その他の保険をかけなければならない。

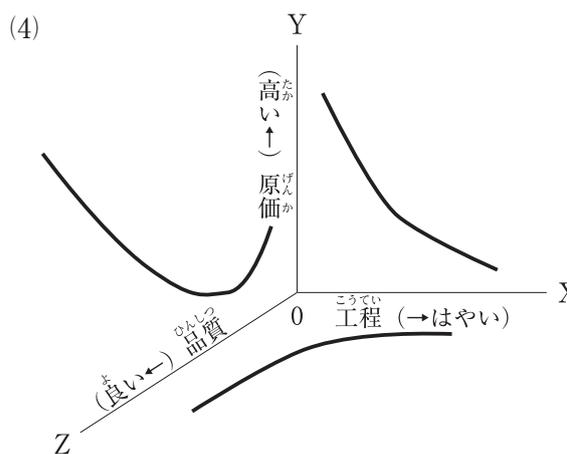
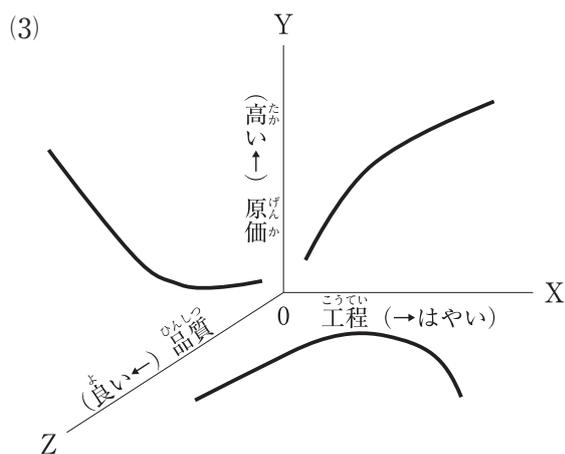
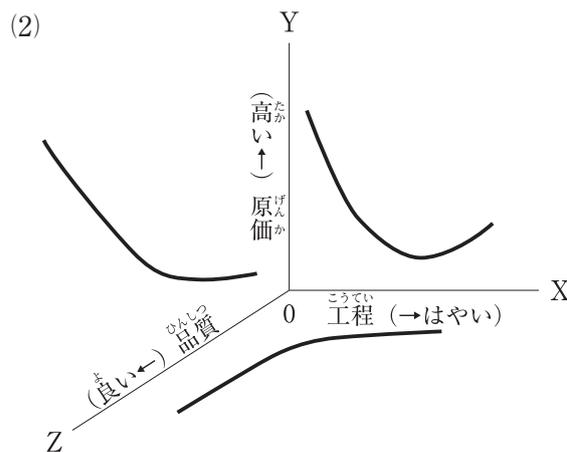
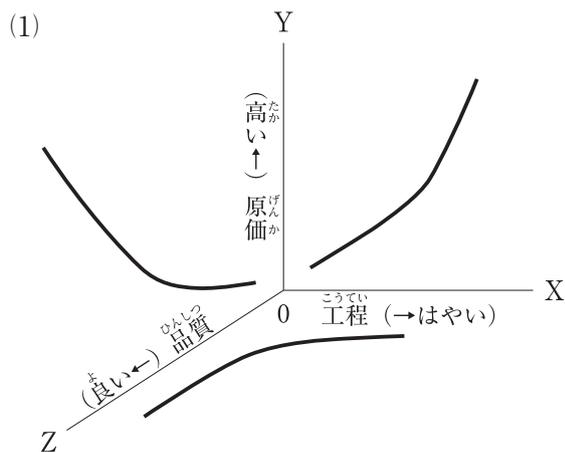
〔問題 30〕 公共工事における請負工事費のうち、**共通仮設費に含まれるもの**はどれか。

- (1) 契約に基づき使用する特許の使用料
- (2) 品質管理のための試験に関する費用
- (3) 現場労働者の募集及び解散に要する費用
- (4) 工事施工に伴って通常発生する物件の毀損の補修に要する費用

〔問題 31〕 施工計画に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 安全管理計画の立案に当たっては、工事現場内の安全対策や安全訓練・教育の方法を検討し、現場外近傍の第三者の災害防止にも留意する必要がある。
- (2) 輸送計画の立案に当たっては、運搬物の種類・大きさ・重量や輸送経路を調査し、工事工程と資機材の数量を勘案して輸送方法を検討する必要がある。
- (3) 資材計画の立案に当たっては、あらかじめ推測した建設副産物の種類と量をもとに、再資源化施設又は他の建設工事現場などへの搬出方法を検討する必要がある。
- (4) 機械計画の立案に当たっては、機械の種類・性能、調達方法のほか、機械が効率よく稼働されるように整備・修理などのサービス体制も確認しておく必要がある。

〔問題 32〕 工程、原価、品質の一般的な関係を示した図のうち、**適当なもの**はどれか。



〔問題 33〕 建設工事における仮設備に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 仮設備に使用する材料は、一般の市販品を使用し可能な限り規格を統一し、他の工事にも転用できるようにする必要がある。
- (2) 仮設備計画の立案に当たっては、本工事の工法や仕様などの変更にてできるだけ追随可能なものとする必要がある。
- (3) 仮設備計画においては、現場事務所や倉庫などの直接仮設工事の計画と、工所用道路や給水設備などの共通仮設工事の計画を定める必要がある。
- (4) 仮設備計画に定める仮設備のうち指定仮設の設計仕様や施工方法については、発注者が定める必要がある。

〔問題 34〕 施工計画を作成するために実施する、次の(イ)～(ニ)の作業項目の**手順として、適当なもの**はどれか。

- (イ) 機械の選定、作業員の配置、1日の作業量の決定、各工事の作業順序など、工事の詳細作業計画を立てる。
- (ロ) 図面、仕様書などの契約内容の確認を行うとともに、現場諸条件を十分に理解するために現地調査を行う。
- (ハ) 工程計画に基づき、労務、機械、材料などの調達・使用計画、輸送計画を立てるとともに、現場管理のための諸計画を作成する。
- (ニ) 主要な工種の施工の順序及び施工方法の概略について、技術的検討と経済的比較を行う。

- (1) (ロ) → (ニ) → (ハ) → (イ)
- (2) (ニ) → (ロ) → (ハ) → (イ)
- (3) (ロ) → (ニ) → (イ) → (ハ)
- (4) (ニ) → (ロ) → (イ) → (ハ)

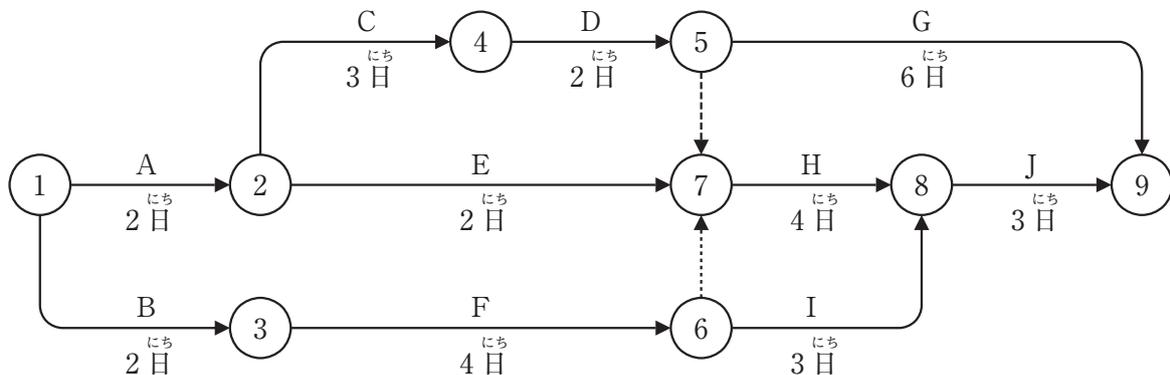
〔問題 35〕 土工に用いる建設機械に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) モータグレーダは、前後の車輪間に調整可能なブレードをもつ建設機械であり、路盤材の敷均しや不陸整正などに用いられる。
- (2) 普通ダンプトラックは、トラックシャシに荷台や荷台傾斜装置などを備え、建設工事用の資材や土砂の運搬に多く用いられる。
- (3) トラクターショベルは、ほぐされた土砂や岩石を積み込むのに適しており、軟弱地では接地圧が小さい履帯式（クローラ式）が用いられる。
- (4) レーキドーザは、伐根作業と表土の掘削・運搬を同時に行うのに適しており、芝生広場の造成作業などに用いられる。

〔問題 36〕 下図に示すネットワーク式工程表に関する次の記述の（イ）、（ロ）に当てはまる数値の組合せとして、**正しいもの**はどれか。

ただし、図中のイベント間のA～Jは作業内容を、日数は作業日数を表す。

本工事の最小所要日数は（イ）日であり、作業Gのトータルフロートは（ロ）日である。



- (イ)      (ロ)
- (1) 13 ——— 1
  - (2) 13 ——— 2
  - (3) 14 ——— 1
  - (4) 14 ——— 2